

野口遵記念館建設 基本構想・基本計画（案）に係るパブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見の概要	本市の考え方・対応	記載ページ
1	1	施設配置計画	ステージには常設の音響板装置を付けてください	今回の計画では、多目的な活用を図るため、可動型音響反射板を設置予定です。	22
	2	施設配置計画	楽屋控室として、スタッフ役員室、男子用楽屋、女子用楽屋にしてください。	収容人数に合わせた楽屋数を計画します。	23
	3	施設配置計画	リハーサルは、室十分なスペースの部屋を作ってください。	フリースペース・練習室・リハーサル室・大楽屋が、それぞれに兼用できるよう、遮音性能に考慮した、部屋を設置する予定です。	24
	4	施設配置計画	クラシック音楽の殿堂としてステージに合ったパイプオルガンをとのピアニストからの要望が強いのと考えてみてください。	パイプオルガンの設置については、市民懇談会においても賛否があり、専門者会議でもご意見を伺った結果、設置費用及び維持管理費用、多目的ホール向けの構造、利用頻度等から設置は困難と考えています。	
	5	その他	私事で誠に恐縮ですが設計者がまだ決まっていなかったら、いとこの子、甥が ○○○○○○の○○○の大学院教授で国際的にも賞を受け認められています。○○○をでた者ですので環境状況も分かっていると思いますので、いい設計をしてくれるのではないかと思いますので考えてみてください。○○○○○○○○○○○○ ○○○○ です。	設計者の選定は、幅広く提案を募り、本市にふさわしい施設設計が可能な設計者を選定してまいります。	
2	6	その他	野口遵記念館については、先ず野口遵翁本人と延岡市歴史推移の関係が、来訪者に十分理解出来る展示をして欲しい。今回計画では、野口遵翁の顕彰を目的とする展示をするとの計画であり多に期待している。	関係団体等のご意見も伺いながら、今後、展示の整備を進めていきます。	24
	7	施設配置計画	立地は、既設場所に建設する計画であるが、現場所は延岡市の中心とも言うべき城山を背景とした一等地であり、城山とマッチングした記念館建物の外観、記念館へのアプローチをデザインにして欲しい。現在、城山の城郭付近の樹木が伐採整備されることにより、江戸時代当時の城郭を偲ぶことが出来ており良い景観となりつつある。記念館の外観や内装が、外來者の城山観光や、同時期にオープンする内藤記念館への誘いにも有効に利用出来るとう良い。	・建物及び配置計画は、歴史文化ゾーンの一部を形成する場所となることから、延岡城跡や周辺への景観、環境に配慮し、一体感が感じられるような動線整備と環境整備を行います。 ・周辺への景観・環境に配慮した、象徴的な施設として、デザイン的に優れた空間形状を持つものを計画していきます。	27
	8	施設配置計画	内部についてメインは公会堂的な催事ホールとなるであろうが、保護条例などの制約はあると思うが、延岡市近郊の素材（木材、原石）を使用したロビーやホールにすると良いと考える。行徳山や大崩山等の森林、源流をイメージしたモニュメント、五ヶ瀬川、祝子川の清流をイメージ出来るアプローチ等：野口遵翁の延岡への企業進出理由は、森林、清流など自然から恩恵を受ける河川水力発電、豊富な工業用水利に有ったと伝える。	内部を含めた施設に使用する木材は、地場産材を含めた県産材の使用を考慮し、温もりのある空間となるように配慮していきます。延岡市近郊の素材については、費用対効果も含め、今後の設計の中で、検討させていただきます。	27
	9	施設配置計画	健康長寿を目指す市方針と整合性の為、超高齢者、障害者にも優しい公会堂構造（バリアフリー、エレベーター設備化、車椅子視聴対応）が必要。シルバー、ハンディキャップ専用席（入りやすい、見やすい席）等も有ると良い。	施設全体にユニバーサルデザインを取り入れ、子供や高齢者、障がい者等に配慮したデザインが実現された、先進的なモデル施設となることを目指します。	27

意見者	No.	区分	意見の概要	本市の考え方・対応	記載ページ
3	10	施設配置計画	音楽ホールには、コーラスの声がほどよく響く、木をふんだんに使用して、パイプオルガンなども設置してほしいと思います。県立芸術劇場の様な素敵なホールにしてください。（木は県産の材木を使ってほしいです）	<ul style="list-style-type: none"> ・生音の響きに配慮した音楽重心型のホールとしますが、音楽だけでなく、演劇、ダンス等の舞台芸術、簡易な音楽劇など、多様な舞台芸術にも十分対応できる多機能なホールとします。音響効果に配慮したデザインとします。 ・内部を含めた施設に使用する木材は、地場産材を含めた県産材の使用を考慮し、温もりのある空間となるように配慮していきます。 ・パイプオルガンの設置については、市民懇談会においても賛否があり、専門者会議でもご意見を伺った結果、設置費用及び維持管理費用、多目的ホール向けの構造、利用頻度等から設置は困難と考えています。 	22 27
	11	その他	先日、いわき市で素晴らしいホールにて歌いましたが、地震にもびくともしなかったそうです。又、そのホールは避難所の役割も果たしたそうです。（つなごう延岡！いわき・熊本支援プロジェクトに参加しました。）	今回の施設は、市役所が防災拠点庁舎として整備されており、避難所スペースも計画配置されていますので、避難所としての役割は考えていません。地震に強い建物の整備を図ります。	
4	12	施設配置計画	県北文化交流施設として象徴的役割（中心的）を今後とも発揮すべく、大いに期待しています。	延岡総合文化センターとの、すみわけ等も考慮しながら、市民に親しまれるような施設の整備を目指します。	
	13	施設配置計画	合唱発表の場として、パイプオルガンを常設してください。城山の風景と鐘とともに、すばらしいハーモニーをかもしてくれるにちがいありません。	パイプオルガンの設置については、市民懇談会においても賛否があり、専門者会議でもご意見を伺った結果、設置費用及び維持管理費用、多目的ホール向けの構造、利用頻度等から設置は困難と考えています。	
5	14	施設配置計画	文化都市延岡の誇りとなる中規模音楽ホールに特化し、古楽から現代曲まで演奏可能な施設設備を整えていただきたい。パイプオルガン、チェンバロ等の配備を強く要望したい。福岡や宮崎に多額の費用かけて演奏会に出かけることはできない。延岡に県北の拠点となる音楽堂を建設し、音楽の溢れる活気あるまちづくりを目指してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・パイプオルガンの設置については、市民懇談会においても賛否があり、専門者会議でもご意見を伺った結果、設置費用及び維持管理費用、多目的ホール向けの構造、利用頻度等から設置は困難と考えています。 ・チェンバロについては、備品となるため、今後の備品計画において検討を行います。 	
6	15	施設配置計画	現代の音楽ホールふさわしい（通用する）音響・設備の整った、街中の利用しやすく、プロの奏者も来なくなるホールを希望します。	生音の響きに配慮した音楽重心型のホールとしますが、音楽だけでなく、演劇・ダンス等の舞台芸術、簡易な音楽劇など、多様な舞台芸術にも十分対応できる多機能なホールとします。音響効果に配慮したデザインとします。	22
	16	施設配置計画	小～中規模のソロ、アンサンブルなどが聴きやすい響き、音楽の作曲された時代に合った楽器で演奏される、最近の音楽事情、ぜひ県北にパイプオルガン・チェンバロの古楽器のあるホールをお願いしたいです。	<ul style="list-style-type: none"> ・パイプオルガンの設置については、市民懇談会においても賛否があり、専門者会議でもご意見を伺った結果、設置費用及び維持管理費用、多目的ホール向けの構造、利用頻度等から設置は困難と考えています。 ・チェンバロについては、備品となるため、今後の備品計画において検討を行います。 	
	17	施設配置計画	旭化成を記念する野口記念館にふさわしい、世界の奏者にも喜ばれる、小さくてもよいので県北の宝ものになるようなホールを希望します。	延岡総合文化センターとの、すみわけ等も考慮しながら、市民に親しまれるような施設の整備を目指します。	

意見者	No.	区分	意見の概要	本市の考え方・対応	記載ページ
7			① 座席数について 以下の観点から座席数は現状程度で、700席に増やす必要はないと考える。	—	
	18	施設配置計画	1) 現状でも前後の席間が狭く、着席者の前を通り抜けられない。高齢者等は出入りが困難で、中央席も敬遠されがちな為、この改善を優先すべき。	客席においては、心地よい鑑賞がしていただけるよう、椅子の大きさや通路の幅に配慮した設計を進めます。	
	19	施設配置計画	2) 現状でも、満席となることは多くなく、駐車場の制限もあることや、文化センターとの棲み分けも考えると、席数を増やす必要性は低い。	現状は648席ですので、新施設においては、600～700席程度の計画とし、設計において詳細に検討してまいります。	13・21・22
	20	施設配置計画	3) 建物の高さ制限があり、従来よりも機能が増える為、多層客席は難しい。	多層客席に関する表現が分かりにくいので、P21の表現を「多層客席も可能ならば検討可とし、その際は1階席のみを400～500席規模のホールとしても、利用出来ることを想定します。」に変更し、設計者の技術力による判断とします。	22
			② 展示について 以下の理由から、「野口遵翁顕彰ギャラリー」と別に「展示室」を設ける必要はなく、ギャラリーで内容を統合してはどうかと考える。	—	
	21	施設配置計画	1) 展示の趣旨である「旭化成との関わり」「工業都市として発展した黎明期の姿」などは、野口遵翁の功績と重複が多いので、まとめるべき。	今後の展示計画にて詳細に検討していきます。	11・19
	22	施設配置計画	2) ユニバーサルデザインなど、優先すべきすべき機能が別にある。	施設全体にユニバーサルデザインを取り入れ、子供や高齢者、障がい者等に配慮したデザインが実現された、先進的なモデル施設となることを目指します。	27
	23	施設配置計画	3) 中途半端な展示は、かえって貧弱に感じられてしまう。	今後の展示計画にて詳細に検討していきます。	11・19
			③ 「市外からの誘客（集客）」について 本草案に、何か所か「市外からの誘客（集客）」という言葉が使われているが、以下の理由から無理に盛り込むべきではないと考える。	—	
	24	施設配置計画	1) ホール機能であれば、駐車場の多い文化センターへ市外から誘客すべき。	市外からの誘客については、延岡総合文化センターとのすみわけにも配慮しながら、管理運営計画にて検討していきます。	
	25	施設配置計画	2) この程度の展示機能（展示室）では、市外からの誘客は困難である。	野口遵翁の偉業を、市内外に発信できるよう努めていきます。	10・11・27
	26	施設配置計画	3) 本館に他に市外客に魅力的な機能は殆ど無く、規模的に機能追加も困難。	本館だけでなく、延岡城跡や再整備される内藤記念館などと、複合的に魅力を発信できる施設となることを目指します。	
	27	施設配置計画	4) ユニバーサルデザイン等、市民の活用し易さを充実した結果、市外客の利用も増えることは望ましいが、市外客を目的にすべきではない。	施設全体にユニバーサルデザインを取り入れ、子供や高齢者、障がい者等に配慮したデザインが実現された、先進的なモデル施設となることを目指します。	
28	施設配置計画	④ 飲食スペースについて このエリアに飲食を目的に人が集まることは難しく、市役所内のレストランや売店も近いことから、飲食専用のスペースや売店は必要ないと考える。ホールや諸機能を利用する方の利便性を向上させて利用率アップを目指し、利用者の滞在時間を長くすることで、賑わいの創出を目指すべきと考える。従って、自動販売機を数台設置し、交流・打合せ・休憩ためのスペースと併せて多目的に使用可能な飲食可能なスペースをやや広くすべきと考える。	飲食スペースは、近隣の市役所内施設との連携も考慮し、今後の管理運営計画において、その手法について検討を進めて行きます。交流スペースは、市民の方の使いやすさに考慮します。	24	

意見者	No.	区分	意見の概要	本市の考え方・対応	記載ページ
8	29	管理運営計画	展示スペースの市民への開放 野口遵翁の偉業をたたえた展示スペースは、野口遵記念館の行事の有り無しに関係なく、無料で鑑賞できるようにしてほしい。	基本的には無料開放を考えていますが、今後の管理運営計画を策定する際に、検討させていただきます。	
	30	管理運営計画	展示スペースの市民への開放 見に来たけれど、施錠されていて見れないことがないようにしてほしい。	常時開館につきましては、今後の管理運営計画を策定する際に、検討させていただきます。	
	31	施設配置計画	駐車場からの人の動線 野口遵記念館を利用する場合、城北山駐車場や市役所職員駐車場を利用するが、西側の通路が狭いので、通行しづらい。	今後の設計において、詳細な検討を進めていきます。	
	32	施設配置計画	男女のトイレの数 2時間以上のコンサート等で、途中休憩のときに、トイレ利用において女性トイレに行列ができて、男性トイレは、ガラガラの場合がある、そこで、同数の数ではなく、女性用を多くするように設計にしてください。	今後の設計において、詳細な検討を進めていきます。	
	33	施設配置計画	音響の環境を良くしてほしい 壁、床、天井等の内装を音響性能に配慮してほしい	今後の設計において、詳細な検討を進めていきます。	
	34	施設配置計画	客席環境の改善 座席サイズと前列の間隔を広く。	今後の設計において、詳細な検討を進めていきます。	
	35	施設配置計画	客席環境の改善 静音性の高い空調設備に更新。	今後の設計において、詳細な検討を進めていきます。	
	36	施設配置計画	客席環境の改善 遮音性の高いドアへの変更及び遮音壁の増設。	今後の設計において、詳細な検討を進めていきます。	
	37	施設配置計画	客席環境の改善 客席の照明を改善し明るさを向上。	今後の設計において、詳細な検討を進めていきます。	
9	38	施設配置計画	野口記念館前の滝の水と、野口記念館の空調（水冷式）の水は、川中保育所前にある井戸の水を使用している。同井戸の水は非常に透明度が高く水量も豊富である。立て替える野口記念館においても、この井戸水は水道代の経費削減に貢献し、災害時の生活用水としても使用可能なので使用すべきである。さらに、井戸水を使い、同館のトイレの排水に使えば更に経費節減となる。また、駐車場にマンホールトイレを設置し、災害時、イベント時のトイレとして使用する際に井戸水を排水に使用すれば水洗化もできる。 ※井戸水配管の耐震化（布設替）を行えば盤石。長期的に考えると、水道代を払い続けるより、井戸水を使い続けるほうが費用はかからない。	今後の設計において、詳細な検討を進めていきます。	
10	39	施設配置計画	避難所機能を充実させる。ホワイエ部分には災害時に避難者を統括する本部が設置されることが予想される。東日本大震災時、いわき市「アリオス」のホワイエには、ボランティア団体の本部、災害FMのスタジオが設置された。その為、①自家発電装置の整備②井戸水をトイレの排水に使用③井戸水を飲料水として使用する為の濾過装置を準備しておく④座席の一部は取り外し可能にし、また一部をリクライニングが出来るものにする⑤消火用兼生活用水用「飲料水兼用耐震性貯水槽」を設置等、防災拠点機能を整備。 ※濾過装置は旭化成が市内数ヶ所設置している設備を「寄付」で設置依頼。	今回の施設は、近接する市役所が防災拠点庁舎として整備されており、避難所スペースも計画配置されていますので、避難所としての役割は考えていません。地震に強い建物の整備を図ります。井戸水の有効利用については、今後の設計において、詳細な検討を進めていきます。	
	40	施設配置計画	大屋根（張出屋根）を設置する。屋内、屋外のイベント（飲食を伴うもの等）を雨天時でも同時に開催出来るようにする。（例：日向市文化交流センター等）	今後の設計において、詳細な検討を進めていきます。	
	41	施設配置計画	「行藤の滝」は潤いを与える空間として残す。また滝の水（井戸水）を施設内のトイレ、空調設備の冷却水等に使用し、経費削減と防災用に供する。	今後の設計において、詳細な検討を進めていきます。	
	42	施設配置計画	駐車場の一部を立体化し、収容台数を増やし、雨天時のイベントスペース、災害時の物資集積所の機能付与。（トラックプラットホーム設置）	駐車場の立体化につきましては、高額な建設費用もかかり、また、城山の景観配慮の点から、具現性があるかどうか、関係課と協議を行います。	